

出雲駅伝注目選手

しもふみのり

下 史 典 (経1) 三重・伊賀白鳳高

5000m 13分52秒97 (金栗記念15/4)
10000m 記録なし

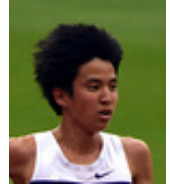


憧れの西山を追うように初戦の記録会では好走を見せる。「今年の1年生は良い練習ができた」というコーチの言葉通り、先輩同輩と切磋琢磨し夏合宿を終えた。初大学駅伝出場に期待が高まる。

くどうなおき

工藤有生(政2) 広島・世羅高

5000m 13分52秒97(金栗記念15/4)
10000m 28分54秒40(asicsチャレンジ15/4)



1年生ながらも箱根4区に出場し、区間2位で華々しい大学駅伝デビューを飾る。以後も自己記録を次々と塗り替える。「勝負度胸が持ち味で勢いがある」という工藤。初出雲で優勝するか。

たかもまさき

高 本 真 樹 (経2) 石川・学法石川高

5000m 14分11秒95(世田谷記録会15/7)
10000m 29分11秒68(日体大記録会15/4)



春の記録会では10000mで自己記録を更新し、着実に実力を積み、練習に対する姿勢も同輩・後輩からも一目置かれる。チームを引っ張る走り駅伝に挑む。

なかたにけいすけ

中 谷 圭 佑 (経3) 兵庫・西脇工業高

5000m 13分49秒60(日本選手権15/6)
10000m 29分19秒30(ユニバーシアード15/7)



昨年の箱根3区では区間1位とチームに大きく貢献。ユニバーシアードでは銅メダルを獲得するなど、駒大の新エースとして地位を築く。スピード感溢れる走り駅伝に貢献するか、期待が高まる。

ゆうすけ

西山 雄 介 (経3) 三重・伊賀白鳳高

5000m 13分59秒45(ホクレン網走DC15/7)
10000m 29分35秒57(関東学生陸上競技対校選手権大会15/5)



昨年の全日本では6区で2位、箱根では7区に出場し区間2位とチームを支える大きな存在だ。夏を乗り越え、また大きな力をつけた。チームの主軸として期待がかかる。

おおつかしょうへい

大塚 祥 平 (営3) 大分・大分東明高

5000m 13分57秒43(ホクレンDC深川15/7)
10000m 28分34秒31(ホクレンDC網走15/4)



上半期は記録会、ホクレンDCで次々と自己新記録を塗り替え、着実に自信をつける。夏合宿ではけがをすもしっかりと調子を整えた。「三大駅伝での優勝」を見据え、タスキをつなぐ。

ばばしょうた

馬場 翔 大 (商4) 岡山・倉敷高

5000m 13分57秒25(ホクレン網走DC14/7)
10000m 28分56秒64(ホクレン網走DC15/7)

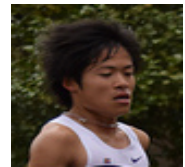


昨年の箱根5区ではアクシデントに見舞われるも、持ち前の粘り強さで最後まで走り切った。春先の不調を乗り越え、10000mで自己新。其田との経験豊富な4年生コンビで三大駅伝を勝利に導く。

そのたけんや

其田 健 也 (営4) 青森・青森山田高

5000m 14分07秒00(ホクレン深川DC15/7)
10000m 29分10秒63(日体大記録会15/4)



安定した走りが持ち味の新主将。口数は少ないというのがその背中でチームを引っ張ってきた。今年は最高学年として、主将として、チームの主軸として、三大駅伝連覇を心に誓う。

「(夏合宿は)1年、2年のときは夏合宿で故障してしまったが、今はケアのしかたも変わってきた。継続した練習が3年、4年でできており、だんだん力がついてきている(最上級生として)練習でしっかり引っ張っていくのが自分の役割だと思っている。キャプテンとして最上級生として練習も結果も引っ張っていききたい。(駅伝への思いは)4年生として最後なので結果を出せるようにしていきたい。チームとしてもやるからには1番になりたい。最低3番以内に入れるようにしたい」